

# 会 議 録

会 議 の 名 称	平成 31 年度第 2 回上尾市子ども・子育て会議	
開 催 日 時	令和元年 8 月 28 日 (水) 午後 1 時 30 分から午後 2 時 50 分	
開 催 場 所	上尾公民館 講座室 501	
議長(委員長・会長)氏名	中村 馨男	
出席者(委員)氏名	浦和三郎、戸野部直乃、伊藤由美子、内藤友里、入野麻希、 遠山貴洋、野村和広、外石馨、萩原和也、鈴木玲子、 大川原恵子、田中元三郎、大場玲子、西川達男	
欠席者(委員)氏名	城所典子、久芳敬裕、小林斗志子	
事務局(庶務担当)	<p>【子ども未来部】 部長 柳真司</p> <p>【子ども支援課】 課長 内田雅幸、主幹 松木ヒロシ、主事 和田一駿</p> <p>【保育課】 課長 井上雅文、主幹 藤波伴安、副主任 濱田信子</p> <p>【青少年課】 主任 米川奈津子</p> <p>【子ども・若者相談センター】 所長 堀口めぐみ、主査 新田武志</p> <p>【健康福祉部健康増進課】 主査 小西夏子</p> <p>【(株)アールピーアイ栃木 (計画策定コンサルティング)】 代表取締役 室井忠頭、副主任研究員 島拓也</p>	
会 議 事 項	1 議 題	2 会 議 結 果
	① 第 2 期上尾市子ども・子育て支援事業計画 (骨子案) について ② 第 2 期上尾市子ども・子育て支援事業計画 (素案) に について ③ その他	①承認 ②承認 ③報告
議 事 の 経 過	別紙のとおり	傍聴者数 5 名

会 議 資 料	資料1 上尾市子ども・子育て支援事業計画 第1期・第2期比較資料 資料2 上尾市第2期子ども・子育て支援事業計画 素案 資料3 第1回会議での質問について

## 議事の経過

発言者	議題・発言内容・決定事項
	<p>1. 平成31年度第2回上尾市子ども・子育て会議</p> <p>(1) 開会</p> <p>(2) 議題</p> <p>①第2期上尾市子ども・子育て支援事業計画（骨子案）について （資料1） 事務局より説明</p>
会長 事務局	<p>この段階で意見をいただくのは難しいと思いますが、報告についての承認を行えば良いでしょうか。</p> <p>骨子案だけでは内容がわからない部分もあると思うので、続けて素案の説明をさせていただきたいと思います。</p>
	<p>②第2期上尾市子ども・子育て支援事業計画（素案）について （資料2） 事務局より説明</p>
入野委員	<p>P 6、「4. 合計特殊出生率の推移」について、上尾市は平成29年に1.21と、全国や埼玉県よりも低い数値になっておりますが、その理由は把握しているのでしょうか。</p>
事務局 会長 事務局 事務局	<p>理由は把握しておりません。</p> <p>合計特殊出生率とは何か教えて下さい。</p> <p>女性一人が一生涯に産む子どもの人数になります。</p> <p>晩婚化が進み、第1子の出産年齢が遅くなっていることなどから、合計特殊出生率が低くなっていることが考えられます。</p>
田中委員 会長	<p>大都市のほうが出生率は低い傾向にあると思います。</p> <p>平成27年に大幅に数値が上がっておりますが、これは母数が影響しているのではないかと想像しました。</p>
事務局	<p>埼玉県内の各市町村の出生率の推移についてはデータがありますので、次回会議の際にお示ししたいと思います。</p>
田中委員	<p>P 19、「9. 児童館」について、入館者数は上尾市民のみの数なのでしょうか。</p>
事務局 萩原委員	<p>上尾市のみではなく、全体の入館者数になります。</p> <p>P 7、「(2) 社会動態の推移」について、平成27年から平成29年にかけて、社会増減が大幅にプラスになっておりますが、なにか理由があるのでしょうか。また、この中に子育て世代がどのくらいいるのかのデータがあれば、次回以降でかまいませんので説明していただきたいと思います。</p> <p>資料1、第4章、基本目標3、障害のある子どもへの支援の充実、障害のある子どもの地域生活への支援、「障害児学童保育事業への補助」とあ</p>

事務局	<p>りますが、現在の上尾市に、障害児学童保育単体のものはありません。一般の放課後児童クラブで障害児を受け入れているところはあるので、そのようなところに対する補助ということでしょうか。</p> <p>「障害児学童保育事業への補助」については、第1期計画の事業が残ってしまっているので、削除したいと思います。</p> <p>社会増減については、次回回答させていただきます。</p>
鈴木委員	<p>P19、「9. 児童館」について、高校生のアップीलンド利用者が増えているのに対し、子どもの城の利用者が減っている理由がわかれば教えてください。</p>
会長 事務局	<p>年度によっても入館者数にバラつきがあるように思います。</p> <p>アップीलンドの指定管理者による取組の違いにより、入館者数に違いがでており、中学生の時にたくさん利用していた子が高校生になっても利用していることが考えられます。子どもの城の利用者は、低年齢の子どもが多く、高校生への取組をしていないため差が出ているのだと思います。</p>
会長 鈴木委員	<p>高校生の利用が増えることは良いことなんでしょうか。</p> <p>大きい子どもが小さい子どもをフォローするように回っているという良い点があると思います。</p>
萩原委員	<p>P2、「第2節 計画の性格と位置づけ」について、最上位計画にある第5次上尾市総合計画は令和2年度までの計画になるため、第2期上尾市子ども・子育て支援事業計画ができてすぐに第6次上尾市総合計画が始まるかたちになります。タイミングの問題なので致し方ないとは思いますが、整合性や連携はどのように図るのでしょうか。</p>
事務局	<p>子ども・子育て支援事業計画は、3年目をめどに中間年で見直しをすることが予定されておりますので、そこで整合性を図りたいと思います。</p>
田中委員	<p>P37、「5. 子どもたちが夢と希望をもち、育つ社会の実現に向けた取組の推進」について、不登校という言葉が入っておりませんので、不登校の子どもに対応した支援についての文言を入れていただけるとありがたいと思います。</p>
事務局	<p>計画の中では、基本目標2. 子どもの笑顔を育む環境づくり、学校・家庭・地域の連携の推進、「不登校・非行の未然防止」という項目と、P37、「4. 子どもたちの健やかな成長を守るための取組の推進」において、「いじめや不登校、児童虐待、子育ての孤立化などの諸問題に適切に対応するため…」という文章が記載されておりますが、全体の流れの中でどの部分に入れるかを再度検討したいと思います。</p>
戸野部委員	<p>P18、「8. 妊娠中からの支援状況（母子健康手帳の交付、妊婦健康診査等）」について、平成29年度までは母子健康手帳交付数と妊娠健康診査受診者数が横ばいですが、平成30年度にかけて妊娠健康診査受診者数が増えているのは、切れ目のない支援ということでネウボラが開始された成果だと捉えて良いのでしょうか。</p>
事務局	<p>ネウボラの成果であるとして自信をもって申し上げにくい部分はありますが、母子保健コーディネーターがいることによって、妊婦検診の大切さや定期受診をきちんと受けるということについて、各妊婦さんにお会いして周知できていると思っております。</p>
会長	<p>他に質問等がないようであれば、ただ今の議事については承認ということよろしいでしょうか。</p>

	<p>一同承認</p> <p>③その他 (資料3) 事務局より説明</p>
浦和委員	<p>先日の地域創生総合戦略審議会でも話がでたのですが、「3. 交通機関が不便」という項目については、上尾駅に行くまでに時間がかかるということもあるため、平方地区、原市地区、上平地区の数値が高く、その結果が子育てしにくいまちにつながっているのではないかと思いました。「4. 保育サービス等が充実していない」、「6. 保育以外の子育て支援サービスが充実していない」という回答も全体的に高い結果となっておりますので、どのようなサービスが求められているのかがわかると良いと思いました。</p>
事務局	<p>子ども・子育てについて新規事業を展開しているものもありますので、利用実績など気になるものがあれば事前にご連絡をいただければ回答の準備をしたいと思っておりますので宜しくお願い致します。</p>
会長	<p>他にご意見がないようであれば、本日の議題は終了とさせていただきます。</p>
	<p>(3) 閉会</p> <p>次回会議について事務局より説明があった。</p>